５．大泉ジャンクション周辺地域課題検討会

（１）外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること

大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会

『外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること』

【本資料について】
・本資料は、大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会において、ステップ１（第１回～第２回）でのメンバーの議論に基づき、運営事務局が整理したものです。
・地域課題検討会では、第１回～第２回にわたり、グループ毎に、外環計画が具体化するとしたら地域にとってどのような問題が懸念されるか、地域が求めることは何かについて、現地見学会を通じて現地を確認しイメージを共有した上で話し合ってきました。
・本資料は、地域課題検討会終了後に、『地域課題検討会・成果集』（仮称）において最終的にとりまとめるものとします。

平成 20 年 7 月 4 日
大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会

グループ［1／2］　場所を特定できる意見

■外環ノ２

交　通
・目白通りから大泉街道をつなぐ道路が計画されているが、周辺の渋滞が心配なので、前原交差点まで延伸して欲しい。

環　境
・側道を通る車からの騒音が心配である。

計画検討の進め方
・外環ノ２を作る前に、事業主体や道路管理者は周辺の住民と話し合って欲しい。

■周辺地域

交　通
・外環の整備により、周辺道路の渋滞の解消、地区内の通過交通の減少などに期待する。
・周辺の幹線道路を整備することにより、幹線道路の渋滞が減少することや地区内道路への通過交通が減少することを期待する。
・外環から地域へ車が流入すると、車の騒音が酷くなることが心配。

■目白通り・大泉街道等の幹線道路

交　通
・目白通りにインターが出来ることで、さらに車が集中し、目白通りの渋滞が酷くなるのではないか懸念している。

工事中
・工事車両が目白通りに入り込むと、通勤時の交通渋滞が現状よりも酷くなる心配がある。外環工事前に大江戸線を延伸し、通勤時の鉄道駅までのアクセスの向上に配慮して欲しい。
・工事中の工事車両の流入や車線規制により、目白通り・大泉学園通り・大泉街道の通行（通勤バス）に支障がでるのではないか懸念がある。

■八の釜憩いの森

環　境
・八の釜の緑がなくなることを懸念している。
・市民の憩いの場として親しまれているので今の位置に八の釜があることが重要である。今の位置に八の釜を残す工夫はできないか。
・開削工事により地下水脈が変わってしまい、湧水が出なくなってしまうことが心配である。
・自然に湧き出る湧水が貴重だと考えている。八の釜を移動させる場合は、湧水が自然に湧き出る場所でないと意味がない。
・八の釜付近の環境施設帯に、現在の八の釜と同じような規模の樹林地が整備されることを期待
・湧水は、水源やどういう流れが出来ているのか等、詳細に調査してもらいたい。
・八の釜周辺は、多くの居住者が散歩等に利用しており、市民の憩いの場として貴重な場所。八の釜がなくなってしまうのであれば、八の釜に代わる市民の憩いの場を確保して欲しい。

■目白通り以北

工事中
・目白通り以北の住民にとって、工事中は渋滞が悪化し駅までの所要時間（バス便の渋滞）が今以上に増えてしまうのではないかという懸念がある。

■土支田通り・東映通り

工事中
・外環工事中や完成後に、土支田通りや東映通りを通るバス路線が廃止されるのではないかという懸念がある。

■インターチェンジ出入口周辺

環　境
・インター出入り口付近の景観が、緑などが無く殺伐とした雰囲気にならないよう、緑の整備を期待する。

■石神井公園

環　境
・石神井公園など周辺の動植物の生態系への影響が心配である。

■トンネル部

安　全
・地下部分で交通事故による火災が起きたときが心配である。火災事故が起きた場合の対策が知りたい。

■開削部分（環境施設帯）

まちづくり
・環境施設帯に公園を設置するなど、地域に新たな憩いの場が出来ることに期待する。
・地域に災害時の避難場所がないことが心配だ。環境施設帯を災害時に利用できるトイレや、水道、流しなどの防災用の設備のある避難場所として整備して欲しい。
・開削部分により道路が分断され、家の前から東西に通行できた道が通れなくなり、不便になるのではないか。開削部分に側道をつけてほしい。
・開削部により地域が分断されることが心配だ。生活道路の機能を確保するため、開削部に歩行者用の橋を架けることも考えて欲しい。
・開削部分が商店街を通る道路を分断する計画となっている。商店の目の前に道路がないと、売り上げにも影響するので商店の前を通る道路を作ってほしい。
・外環で地域が分断されることが不安である。開削部分の幅を狭くしてなるべく地域分断の影響を小さくしてほしい。
・地域分断で掘り割りの上に道路を付ける時の生活道路としての取り付け方を検討してほしい。

環　境
・開削部分から出る騒音による健康への影響が心配。
・開削部分周辺の騒音と排気ガスが心配である。
・大きな構造物ができることにより、心理的な圧迫感が拭えないことに不安がある。
・開削をせずにトンネルにすれば、工事中の騒音や地下水など多くの問題が解決すると思われる。技術的にしっかり検討して欲しい。

工事中
・開削をせずにトンネルにすれば、工事中の騒音や地下水など多くの問題が解決すると思われる。技術的にしっかり検討して欲しい。
・開削工事により、外環に隣接する住宅の生活環境（騒音・振動）が悪化する懸念がある。

移転補償
・開削部は居住者の移転が必要になるため、開削部を最小限にしてほしい。
・開削部の居住者の今後の生活設計に不安がある。

■料金所

環　境
・料金所のところで渋滞が起きて排気ガスが溜まってしまうことが心配。料金所で渋滞が起こらないようにしてほしい。

■換気所

環　境
・換気所から出る排気ガスが心配である。
・清掃工場から出る排気と、換気所から出る排気による大気への影響が心配。
・大泉には出入り口や換気所という施設が集中しているという不平等感がある。換気所を分散してほしい。
・換気所から出る排気ガスが周辺地域に溜まってしまうのが心配である。
・換気所のフィルターで周辺への排気ガスの影響が少なくなると説明されているが、どのくらいきれいになるのかフィルターの性能を知りたい。
・換気所の高さが低くなったことで、換気塔から出る排気ガスが周辺地域に溜まってしまうのが心配である。

工事中
・換気所付近は現状でも工事車両が多く通行するため、将来外環の工事が始まった場合、小中学生の登下校時の安全が心配。

■凡例
特定のポイント
ジャンクション地上部ゾーン
ジャンクション地下部ゾーン
学校
公園・緑地
生産緑地
主な公共施設等
主な道路
都市計画道路
河川
調整池
主な湧水
文化財・史跡
地表部の路面(外環)
地表部のその他の施設
換気所
シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより浅い箇所)
シールドトンネル部(全ての構造が41m以深になる箇所)
トンネル分合流部(深度区分については凡例参照)
外環の地上部の計画範囲
外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)
地表部の路面(外環以外)
現在の都市計画
進行方向

グループ［２／２］　場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交　通

・外環の整備により、現在バスが渋滞により遅延している状況が改善されることを期待する。
・外環の整備に合わせ、地域全体の交通計画もしっかりやってほしい。
・外環の完成により交通量が増え、渋滞が悪化することで、地元の車利用が不便になるのではないか心配だ。

環　境

・交通量が増えることによる、大気への影響・騒音が心配である。
・外環整備による排気ガス（NO_2）や騒音は環境基準に収まるようにしてほしい。
・周辺地域への振動が心配である。
・工事中や整備後の建物への振動がどの程度あるのか心配。

まちづくり

・外環が整備されることにより住環境がよくなることを期待する。
・大泉街道、都民農園方面の現在のバス路線に影響があるのか不安である。

工事中

・工事中に地区内の交通量が増えるのではないか心配。
・工事車両が増加することで、小中学生や高齢者など歩行者の安全に懸念がある。
・工事車両による、渋滞の悪化に懸念がある。
・工事車両が地域の中にたくさん入り、交通事故が起きないか不安である。
・工事中の振動や埃等により、工事現場周辺居住者の生活に影響が出るのではないかという懸念がある。
・工事の時に安全を最大限に配慮してほしい。
・工事による生活への影響が不安。いつから工事になるのか知りたい。

移転補償

・生活設計ができないので、スケジュールを明確にしてほしい。

計画検討の進め方

・外環整備にかかるコストに見合うだけの利便性や経済効果は期待できるのか懸念している 。
・外環整備後のメンテナンスコストも含めて計画しているのか懸念している。
・外環整備後の交通量は、現在の予測値より大きいのではないかという懸念がある。
・通行料金が高いと外環利用者が少なくなり、地区内に通過交通が入り込むのではないかという懸念がある。
・新座にインターチェンジができる話があるが、これと外環ができたときに地域への交通量がどのようになるか知りたい。

Bグループ［1／2］　場所を特定できる意見

■八の釜憩いの森

環境

- 区の天然記念物でもある重要な自然である八の釜の湧水とその周辺を残してほしい。
- 八の釜の自然が残るように考慮してほしい。自然は一度なくなったら戻らない。子どもたちのために八の釜の自然を残したい。
- 周辺地域の緑がなくなった今、八の釜に残されている緑は地域にとって大事な緑である。その大事な緑を残してほしい。
- 八の釜の池の水はきれいでホタルも見られる。湧水は昔から住民の手で守られてきたものだ。この湧水を保全してほしい。
- 八の釜憩いの森には他の地域にはない希少なブナ雑木林がある。この緑を残してほしい。
- 八の釜の周辺は、環境の変化や土地利用の改変があった中で、八の釜は地域の手で守られてきた。この湧き水のある希少な身近な自然を地域の資産として子供たちにそのままの形で継承できるよう保全して欲しい。

■びくに公園

環境

- 外環が八の釜を通るなら、八の釜からびくに公園に水を引いて白子川に流れを作るようにすることを提案したい。今は運動場に使われているが、八の釜の代替地として使ってはどうか。

■目白通りインターチェンジ

交通

- 目白通りインターチェンジと大泉ジャンクションとの相乗効果で渋滞等が予測値よりもひどい状況になるのではないか懸念している。
- 関越からの上り出口が地域で降りられず不便だ。目白通りインターチェンジで降りられるようにしてほしい。

環境

- 目白通りインターと大泉ジャンクションとの相乗効果で排気等が予測値よりもひどい状況になるのではないか心配している。

■大泉ジャンクション周辺の小学校

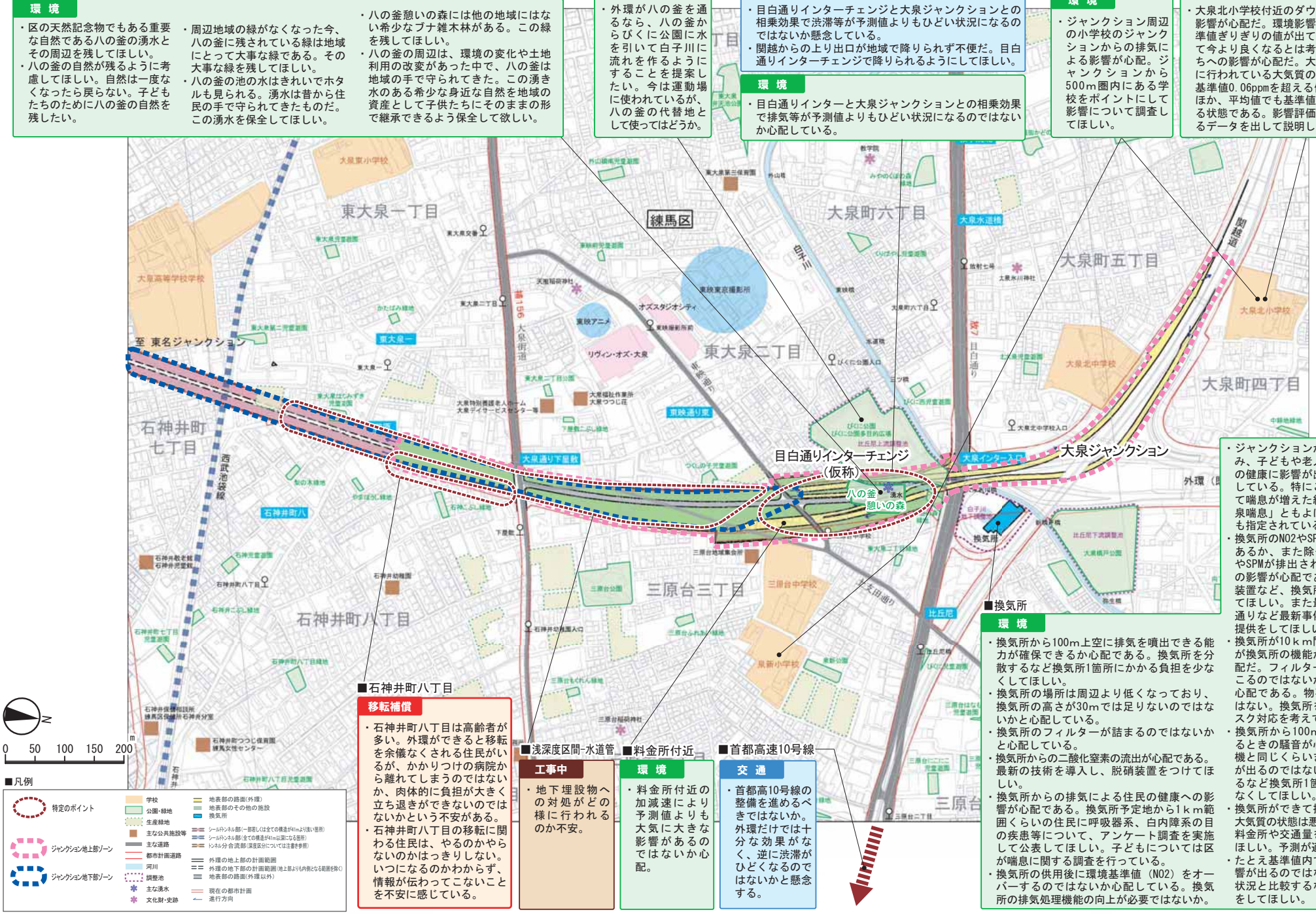
環境

- ジャンクション周辺の小学校のジャンクションからの排気による影響が心配。ジャンクションから500m圏内にある学校をポイントにして影響について調査してほしい。

■大泉北小学校周辺

環境

- 大泉北小学校付近のダウンウォッシュによる影響が心配だ。環境影響評価の予測値では基準値ぎりぎりの値が出ているが、外環ができて今より良くなるとは考えにくい。子どもたちへの影響が心配だ。大泉北小学校で継続的に行われている大気質の調査では、最高値で基準値0.06ppmを超える値を示すことがあるほか、平均値でも基準値の値に近くなっている状態である。影響評価の予測値の論拠となるデータを出して説明してほしい。



■凡例

特定のポイント
ジャンクション地上部ゾーン
ジャンクション地下部ゾーン
学校
公園・緑地
生産緑地
主な公共施設等
主な道路
都市計画道路
河川
調整池
主な湧水
文化財・史跡
地表部の路面(外環)
地表部のその他の施設
換気所
シールドトンネル部(一部形しは全ての構造が41mより浅い箇所)
シールドトンネル部(全ての構造が41m以深になる箇所)
トンネル分合流部(深度区分については凡例参照)
外環の地上部の計画範囲
外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)
地表部の路面(外環以外)
現在の都市計画
進行方向

■石神井町八丁目

移転補償

- 石神井町八丁目は高齢者が多い。外環ができると移転を余儀なくされる住民がいるが、かかりつけの病院から離れてしまうのではないか、肉体的に負担が大きく立ち退きができないのではないかという不安がある。
- 石神井町八丁目の移転に関わる住民は、やるのかやらないのかはっきりしない。いつになるのかわからず、情報が伝わってこないことを不安に感じている。

■浅深度区間-水道管

工事中

- 地下埋設物への対処がどの様に行われるのか不安。

■料金所付近

環境

- 料金所付近の加減速により予測値よりも大気に大きな影響があるのではないか心配。

■首都高速10号線

交通

- 首都高10号線の整備を進めるべきではないか。外環だけでは十分な効果がなく、逆に渋滞がひどくなるのではないかと懸念する。

■換気所

環境

- 換気所から100m上空に排気を噴出できる能力が確保できるか心配である。換気所を分散するなど換気所1箇所にかかる負担を少なくしてほしい。
- 換気所の場所は周辺より低くなっており、換気所の高さが30mでは足りないのではないかと心配している。
- 換気所のフィルターが詰まるのではないかと心配している。
- 換気所からの二酸化窒素の流出が心配である。最新の技術を導入し、脱硝装置をつけてほしい。
- 換気所からの排気による住民の健康への影響が心配である。換気所予定地から1ｋｍ範囲くらいの住民に呼吸器系、白内障系の目の疾患等について、アンケート調査を実施して公表してほしい。子どもについては区が喘息に関する調査を行っている。
- 換気所の供用後に環境基準値（NO2）をオーバーするのではないか心配している。換気所の排気処理機能の向上が必要ではないか。
- ジャンクションができて大気汚染が進み、子どもや老人など体が弱い人たちの健康に影響が出るのではないか心配している。特にこの地域は関越ができて喘息が増えた経緯がある。通称「大泉喘息」ともよばれ、喘息認定地域にも指定されている。
- 換気所のNO2やSPMの除去性能が十分であるか、また除去しきれなかったNO2やSPMが排出されることによる大気への影響が心配である。脱硝装置や集塵装置など、換気所に最新技術を導入してほしい。また最新技術について山手通りなど最新事例を視察したり、情報提供をしてほしい。
- 換気所が10ｋｍ間隔で設置されているが換気所の機能が十分に機能するか心配だ。フィルターなど故障・事故が起こるのではないか、安全対策は十分か心配である。物事に100%確実なことはない。換気所を分散するなど十分リスク対応を考えてほしい。
- 換気所から100m上空に排気を噴出するときの騒音が心配である。ジェット機と同じくらいまたはそれ以上の騒音が出るのではないか。換気所を分散するなど換気所1箇所にかかる負担を少なくしてほしい。
- 換気所ができて排気が出れば今よりも大気質の状態は悪くなるのではないか。料金所や交通量を見て影響評価をしてほしい。予測が適切か懸念している。
- たとえ基準値内であっても何らかの影響が出るのではないか心配。他事例の状況と比較するなど、適切な影響予測をしてほしい。

Bグループ［2／2］　場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

環 境

・大気汚染による子どもたちへの健康への懸念がある。もっと低い数値に抑えられるように換気所の機能を向上すべきである。
・他トンネルの事例も参考に風向きなども考慮して排気の影響について検討することが必要。
・少し離れた地域での大気への影響も考慮することが必要。
・供用後の振動の影響が心配である。
・現在公表されている環境影響に関するデータの信頼性に懸念がある。二酸化窒素やCO2などの環境影響については、現状でもっとも悪いと思われる場所（大泉北小、谷原の交差点など）で調査してほしい。
・影響の予測について、最新のデータにより検証されていないのではないか懸念している。

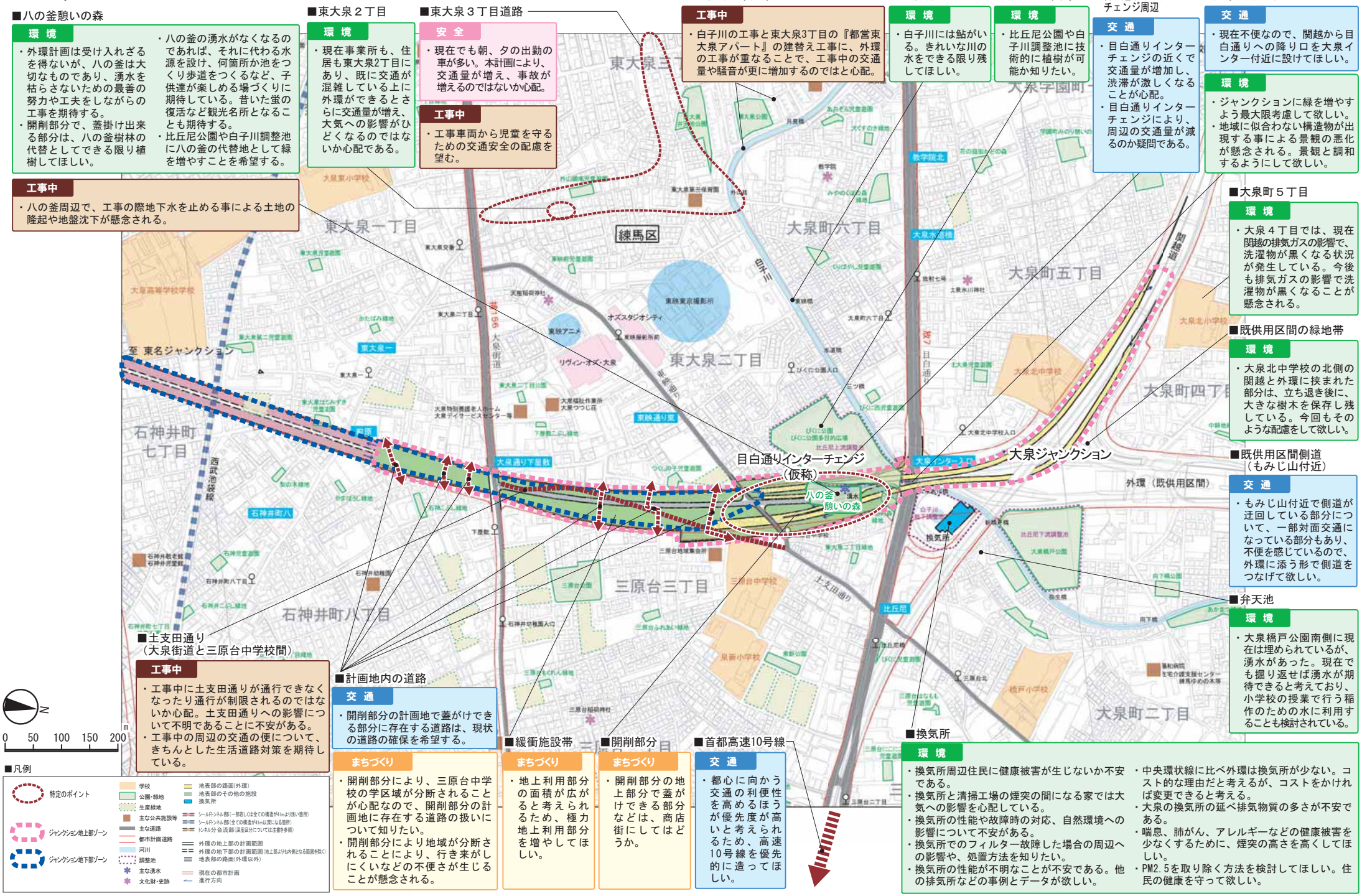
工事中

・工事中の生活道路、通学路を確保して欲しい。
・工事期間中の生活道路や特に通学路の安全が心配である。
・生活道路の取り付けを配慮しアクセス機能を工事中も確保してほしい。周辺からの交通が増えて渋滞が発生することを懸念している。
・工事中から生活道路の取り付けを配慮しアクセス機能を確保してほしい。周辺からの交通が増えて渋滞が発生することを懸念している。

計画検討の進め方

・外環ノ２の計画検討のスケジュールが明らかにされていないことを懸念している。
・大気の現状と予測値を比較して検討できるように、事前に双方の具体的な数値を教えてほしい。
・用地補償などの問題があるので石神井町の住民にも意見を聴く場を設けてほしい。
・過去の工事で目白通りの通学路が遮断されたが、情報提供が十分でなく混乱した経緯がある。計画の早期発表、周知を十分してほしい。

Cグループ［1／2］　場所を特定できる意見



■凡例

特定のポイント
ジャンクション地上部ゾーン
ジャンクション地下部ゾーン
学校
公園・緑地
生産緑地
主な公共施設等
主な道路
都市計画道路
河川
調整池
主な湧水
文化財・史跡
地表部の路面(外環)
地表部のその他の施設
換気所
シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより浅い箇所)
シールドトンネル部(全ての構造が41m以深になる箇所)
トンネル分合流部(深度区分については巻末参照)
外環の地上部の計画範囲
外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)
地表部の路面(外環以外)
現在の都市計画
進行方向

■八の釜憩いの森

環　境

・外環計画は受け入れざるを得ないが、八の釜は大切なものであり、湧水を枯らさないための最善の努力や工夫をしながらの工事を期待する。
・開削部分で、蓋掛け出来る部分は、八の釜樹林の代替としてできる限り植樹してほしい。
・八の釜の湧水がなくなるのであれば、それに代わる水源を設け、何箇所か池をつくり歩道をつくるなど、子供達が楽しめる場づくりに期待している。昔いた蛍の復活など観光名所となることも期待する。
・比丘尼公園や白子川調整池に八の釜の代替地として緑を増やすことを希望する。

工事中

・八の釜周辺で、工事の際地下水を止める事による土地の隆起や地盤沈下が懸念される。

■東大泉２丁目

環　境

・現在事業所も、住居も東大泉2丁目にあり、既に交通が混雑している上に外環ができるとさらに交通量が増え、大気への影響がひどくなるのではないか心配である。

■東大泉３丁目道路

安　全

・現在でも朝、夕の出勤の車が多い。本計画により、交通量が増え、事故が増えるのではないか心配。

工事中

・工事車両から児童を守るための交通安全の配慮を望む。

■白子川・東大泉アパート

工事中

・白子川の工事と東大泉3丁目の『都営東大泉アパート』の建替え工事に、外環の工事が重なることで、工事中の交通量や騒音が更に増加するのではと心配。

■白子川

環　境

・白子川には鮎がいる。きれいな川の水をできる限り残してほしい。

■びくに公園等

環　境

・比丘尼公園や白子川調整池に技術的に植樹が可能か知りたい。

■目白通りインターチェンジ周辺

交　通

・目白通りインターチェンジの近くで交通量が増加し、渋滞が激しくなることが心配。
・目白通りインターチェンジにより、周辺の交通量が減るのか疑問である。

■大泉ジャンクション

交　通

・現在不便なので、関越から目白通りへの降り口を大泉インター付近に設けてほしい。

環　境

・ジャンクションに緑を増やすよう最大限考慮して欲しい。
・地域に似合わない構造物が出現する事による景観の悪化が懸念される。景観と調和するようにして欲しい。

■大泉町５丁目

環　境

・大泉４丁目では、現在関越の排気ガスの影響で、洗濯物が黒くなる状況が発生している。今後も排気ガスの影響で洗濯物が黒くなることが懸念される。

■既供用区間の緑地帯

環　境

・大泉北中学校の北側の関越と外環に挟まれた部分は、立ち退き後に、大きな樹木を保存し残している。今回もそのような配慮をして欲しい。

■既供用区間側道（もみじ山付近）

交　通

・もみじ山付近で側道が迂回している部分について、一部対面交通になっている部分もあり、不便を感じているので、外環に添う形で側道をつなげて欲しい。

■弁天池

環　境

・大泉橋戸公園南側に現在は埋められているが、湧水があった。現在でも掘り返せば湧水が期待できると考えており、小学校の授業で行う稲作のための水に利用することも検討されている。

■土支田通り（大泉街道と三原台中学校間）

工事中

・工事中に土支田通りが通行できなくなったり通行が制限されるのではないか心配。土支田通りへの影響について不明であることに不安がある。
・工事中の周辺の交通の便について、きちんとした生活道路対策を期待している。

■計画地内の道路

交　通

・開削部分の計画地で蓋がけできる部分に存在する道路は、現状の道路の確保を希望する。

■緩衝施設帯

まちづくり

・地上利用部分の面積が広がると考えられるため、極力地上利用部分を増やしてほしい。

■開削部分

まちづくり

・開削部分の地上部分で蓋がけできる部分などは、商店街にしてはどうか。

■首都高速10号線

交　通

・都心に向かう交通の利便性を高めるほうが優先度が高いと考えられるため、高速10号線を優先的に造ってほしい。

■換気所

環　境

・換気所周辺住民に健康被害が生じないか不安である。
・換気所と清掃工場の煙突の間になる家では大気への影響を心配している。
・換気所の性能や故障時の対応、自然環境への影響について不安がある。
・換気所でのフィルター故障した場合の周辺への影響や、処置方法を知りたい。
・換気所の性能が不明なことが不安である。他の排気所などの事例とデータが欲しい。
・中央環状線に比べ外環は換気所が少ない。コスト的な理由だと考えるが、コストをかければ変更できると考える。
・大泉の換気所の延べ排気物質の多さが不安である。
・喘息、肺がん、アレルギーなどの健康被害を少なくするために、煙突の高さを高くしてほしい。
・PM2.5を取り除く方法を検討してほしい。住民の健康を守って欲しい。

Cグループ［2／2］　場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交 通

・外環により地域が分断されることにより、迂回する車による側道や周辺の細い道路の交通量の増大が懸念される。
・今回の計画では、交通の利便性と安全性を踏まえた綿密な側道の検討を望む。

環 境

・外環による大気への影響を心配している。対策について、よりよい方向に解決し進んでいく事を期待する。
・近くに練馬清掃工場もあり、環境への負荷を少なくするため分散して排気できないか。
・地域の住民や子ども達の健康被害状況を調べたデータがあるのであれば教えてほしい。
・渋滞を想定した換気方式の中央環状線とはことなり、外環の換気計画は、一般のトンネルと同じ「縦流換気方式」で計画しているが、もし渋滞を予想していないようであれば渋滞した場合の排気ガスの処理方法を検討してほしい。
・環境評価書に記載されている排気ガスの排出量を、きちんと処理できる計画になっているのか不安。
・環８井荻トンネルの換気所でフィルターがつまったことがあると聞いている。今回計画している換気所でのフィルターの処理能力が不安である。
・開通すれば、騒音が心配である。
・騒音については、車社会では避けられない問題と思うので時間をかけて話し合いたい。
・現在の防音アクリルは、威圧感がなく、防音効果も感じられるので満足している。
・防音壁の色調や素材、形状の工夫を望む。樹木で覆ったり、壁面緑化などの方法を期待する。
・換気所、ランプ等の構造物による景観が、周囲の景観と調和することを望む。
・夜の街路灯の明かりによる周辺環境への影響が懸念されるので、夜間の明るさにおける周辺環境への配慮を望む。
・排気ガスについて発表されている数値の信頼性に不安がある。
・開削部分による地域の分断の解決や、騒音、排気ガスなどの問題解決の方法として、地下に外環を通す方法もあるのではないか。
・清掃工場の排気ガスの予測も加味した大気影響予想をお願いしたい。

まちづくり

・開削部分による地域の分断の解決や、騒音、排気ガスなどの問題解決の方法として、地下に外環を通す方法もあるのではないか。

安 全

・防音壁付近等における植栽が、暗がりを生み、防犯上悪影響があるのではと懸念される。

工事中

・側道が通れないところがあり、工事での渋滞が心配。
・工事中の交通量の増加による、大気への影響が心配。
・工事車両による、排気ガス、粉塵、騒音が懸念される。
・工事中、トンネル内の残土搬出について、粉塵や排気ガスが懸念されるため、大泉地域から集中させて搬出するのではなく、公平に他の地域に分散させて搬出してほしい。
・工事期間中の大量の建設車両による大泉ジャンクション周辺の騒音や土砂の運搬に伴うホコリが心配。充分な対策を期待する。
・以前外環工事の際、遺跡発掘のホコリがとても気になったため、今回ホコリに対して対策をお願いしたい。
・以前外環工事の際、遺跡発掘のため工事期間が長引いたことがあり、長期間ホコリに悩まされるのではないか懸念される。
・工事中に交通量が増加して、現在抜け道になっているところでの子供の安全が懸念される。

移転補償

・生活設計の見通しを立てたいので、着工時期などのスケジュールを教えてほしい。

計画検討の進め方

・交通量の調査は最新のデータを使用して欲しい。
・自然環境は将来に対して最も重要な問題なので、今後の話し合いに期待している。